

## 平成 28 年度 第 5 回三重県行財政改革推進本部本部員会議 概要

- 1 開催日時：平成 28 年 8 月 4 日（木）9:20～9:40
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

### 議題 1 「歳入確保ワーキング・グループ」及び「歳出改革ワーキング・グループ」の検討状況について

#### 【下村財政課長】（資料 1 に基づき説明）

この資料は、ワーキング・グループ（以下、「WG」という。）における検討状況を財政課において取りまとめたものである。今回は、歳入では多様な財源確保策、歳出では社会保障関係経費のあり方について報告する。

#### 【伊藤健康福祉部長】

社会保障関係経費については、ほとんどが国の制度によるものであり、県の裁量の余地は限られている。逆に言えば、財源も一定措置されているもので、社会保障関係経費を削減したら収入が余るといふことにはなりにくい。

資料 15 ページのグラフについては、平成 26 年度は消費税増税の年度であり、社会保障と税の一体改革により消費税率引上げに伴う増収分は全て社会保障の充実と安定化に充てられたことから、社会保障関係経費がグラフのように伸びている。高齢者については、入所施設を整備すると給付も増えるが、不足している施設を整備してきていることにより伸びが全国 6 位になっていると推測される一方で、一人当たりの額そのものは全国 36 位であり、まだ全国的な水準に追いついていない状況である。

#### 【松下財政課班長】

資料 14 ページにあるように、一般財源に占める割合が増加しているが、これは、一般財源が伸びていないことによるところが大きい。国に対して社会保障関係経費に対する地方財政措置を充実していただくことを要望していくとともに、一般財源に対する負担が大きくなっていることに留意する必要がある。

#### 【水島観光局長】

歳入確保のメインの出口が、クラウドファンディングというのは違和感がある。

#### 【西城戦略企画部長】

クラウドファンディングについて、大括りに束ねると逆にメッセージ性が薄れると思う。どの事業でクラウドファンディングを導入するかが大事ではないか。

#### 【松下財政課班長】

歳入については、これまで県税収入、使用料・手数料等について報告している。

多様な財源確保策のうち、ネーミングライツ、広告収入はこれまで取り組んできたものであるが、目新しい部分としてクラウドファンディングを報告している。  
また、見せ方については、頂いたご指摘も踏まえて検討していきたい。

**【西城戦略企画部長】**

今回、どういう観点から社会保障関係経費を報告したのか。

**【松下財政課班長】**

これまでWGにおいて議論をした順番により報告をしている。次回は、別のテーマを報告する。

**【知事】**

グラフ等で使用する数値については、なぜその年度間で比較するのか説明できるように十分注意してほしい。